平戸警察署協議会第4回会議議事概要

日時	令和4年10月26日(水) 13時30分~16時00分
場所	平戸警察署講堂
出席者	 協議会 阿部会長 岡田委員 北川委員 田中委員 長崎屋委員 警察署 野口署長 川口副署長 秋山警務課長 山川交通課長 林刑事生活安全課長 警備係長 書 記 留置係長
会議の状況	1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について、次のとおり説明があった。 (1) 夏休み中における水難事故の防止 ア 海水浴場の特別警戒を実施した。 イ 広報警戒活動を推進した。 (2) 台風シーズンにおける災害防止対策 ア 台風等による災害諸対策を推進した。 イ 災害発生時における対策を推進した。 (2) 令和4年7月から9月までの業務重点推進結果について各課長等から、次のとおり説明があった。 (1) 高齢社会総合対策の推進 ア 情報発信・広報啓発活動を推進した。 イ 関係機関との情報共有、連携強化による対策を推進した。 (2) 夏休み中における少年非行・犯罪被害防止の推進 ア 有害環境の浄化を実施した。 イ 登下校中の見守り活動を強化した。 (3) 暴力団排除活動の推進 平戸地区暴力追放運動推進協議会総会を開催した。 (4) 犯罪・事故の未然防止活動の推進 ア 海水浴場等における水難事故防止活動を実施した。 イ 犯罪・事故の未然防止のための広報活動を推進した。 (5) 交通事故抑止対策の推進 高齢者の交通事故防止対策を推進した。 (6) 台風時期における災害警備活動の推進 台風時期における災害警備活動の推進 台風時期における警備諸対策を推進した。 3 業務重点推進計画について副署長から、次のとおり説明があった。 (1) 高齢社会総合対策の推進 ア 情報発信・広報啓発活動の推進

イ 関係機関等との情報共有、連携強化による対策の推進

- (2) ニセ電話詐欺被害防止対策の推進
- (3) 指名手配被疑者の捜査強化
- (4) 犯罪・事故防止活動の推進

ア 街頭活動の強化

イ 年末の警戒活動の推進

- (5) 交通事故抑止対策の推進 飲酒運転の根絶
- (6) 警護活動の推進 警備諸対策の推進
- 4 諮問テーマに対する答申について

署長から、協議会に対して諮問があり、協議会から次のとおり答 申された。

(1) 諮問テーマ

ニセ電話詐欺被害防止にかかる市民への周知状況と効果的な被 害防止対策について

(2) 協議会からの答申

阿部会長から協議会委員に対し、次のとおり署長への答申内容 について確認があり、全会一致で了承された。

ア 防災無線や横断幕の活用

防災無線や横断幕・懸垂幕を活用し、市民に対して日常的に 被害防止を周知する。

イ 地域一丸となった被害防止対策

コンビニエンスストアや自治体などと協力し、ニセ電話詐欺 被害の可能性があれば、積極的に声掛けを行うなどして被害を 未然防止する。

ウ撃退機の広報

住民の中には、撃退機の存在を知らなかったり、機能を使え ていない者がいるので、警察からも積極的に撃退機の存在や機 能について広報する。

エ 郷土力士への協力依頼

平戸市出身の幕内力士『平戸海関』を活用した広報活動を検 討する。

諮問テーマの設定について

署長から協議会に対して、次のとおり諮問テーマが設定され、次 回協議会において答申されることとなった。

(1) 諮問テーマ

地域の特性を踏まえた施策について

(2) 設定理由

平戸市の高齢化率は40パーセントを越え、当署では高齢者に対 する各種対策を喫緊の課題として取り組んでいる。

また、本年中、交通死亡事故3件、ニセ電話詐欺被害3件など が発生したことに伴い、各種対策に取り組んでいるところである が、平戸の地域の特性を踏まえ、年間を通じた各種警察活動につ いて、御意見を伺いたい。

会議の状況

提 出 意 見	○ 年末に向けた各種事件事故の抑止について 年末に向けて慌ただしい時期となり、事件事故の発生が予想され るため、強盗等の凶悪事件を含めた各種事件事故の抑止活動を推進 してもらいたい。